



東日本大震災・支援対策本部ニュース

—届けようワイズの心—



ワイズは新年度を迎えましたが、東日本区としての被災者支援活動は継続して強力に取り組んでいきます。緊急支援のフェーズから、それぞれのクラブの特徴を活かした長続きする支援活動の開始のフェーズに移りつつあると言えましょう。どうぞ各クラブで、自分たちがどんなことができるかお話し合い下さい。そのことの実現に向けて支援対策本部はサポートさせていただきます。お気軽にご相談下さい。

1. 支援募金第1期終了。1,500万円を超える献金ありがとうございました。

東日本区・東日本大震災支援募金は6月30日を持って第1期を終了しました。3月17日の募金開始来、東日本区 東日本大震災・支援対策本部には以下のとおり1,500万円を超える献金が寄せられました。

<献金額>

区分	件数	金額
クラブ	51	4,907,723
部その他	12	1,980,665
個人	13	681,000
海外	36	8,254,879
合計	112	15,824,267

*国際本部を経由しての献金も含まれています。

*YMCA 同盟や各地の YMCA、あるいは赤十字、地方自治体、新聞社等への献金は含まれていません。これらの場合もご連絡下さい。記録に残しておきたいと思えます。

引き続き7月1日からは第2期(～2012年6月末)として募金を行ないます。被災地では不自由な生活を余儀なくされている方が沢山いらっしゃいます。被災地の YMCA では支援活動の資金が不足しています。どうぞ各クラブで継続して献金のご協力をお願いいたします。

<支出>

区分	内訳	金額
支援金	仙台 YMCA、盛岡 YMCA、在仙3クラブ、もりおかクラブ	2,250,000
支援物資購入費	電動自転車、発電機、高圧洗浄器、洗濯機、野蒜小学校備品、スコップ、毛布等	2,199,370
支援経費	レンタカー、横断幕、募金箱、ステッカー等	588,456
クラブ支援活動補助金	東京銀座(2)、横浜区内	310,390
合計		5,348,216

献金額から支出を除いた10,476,051円については一定額の手許金(支援物資購入費、クラブ支援活動補助金等のための資金)を確保した上で日本 YMCA 同盟に寄付いたします。

2. 野蒜小学校にスポーツ用具等贈呈

仙台 YMCA では津波の大きな被害を受け、避難所生活を続けている東松島市立野蒜小学校の子供たちを「がんばろう!のびるっこ!」プロジェクトとして仙台 YMCA のプールを開放したり、現地でリクレーション活動を行ったりして支援しており、在仙台の各ワイズメンズクラブも食事の提供等のサポートを行っています。

先般、仙台 YMCA から、野蒜小学校からのリクエストを受け、ワイズ東日本区にスポーツ用具、教務用具の寄付の依頼があり、支援対策本部で検討の結果、寄付(現金70万円を贈り、現地で購入していただく)を行うことといたしました。贈呈式は7月6日に行われます。

<主な品目>

サッカーボール、長縄跳び、フラフープ、体操マット、ラジオ、デジタルカメラ、ビデオカメラ、ラミネーター、裁断機、ワイヤレスアンプセット、メガホン、CD プレーヤー

3. 各地のワイズメンズクラブの取組み

<東京銀座クラブ>

5月29日(日)、東松島市で開催された「復興祭」にて、「焼き鳥」、「焼きとん」屋台のボランティア奉仕を行われました。仙台青葉城ク



ラブメンバー、東京ひがしクラブメンバー、東京 YMCA 関連のバン格拉デシュの子供たちの支援グループ「チョトショブノ」のメ

ンバーも加わり、総勢22名での奉仕でした。また、同クラブは銀座という地の利を活かし、行きつけの飲み屋さん5店に募金箱を置き、2ヶ月間で15万以上の募金を集められました。皆さんのクラブでも取り組まれてはいかがですか?募金箱のご請求は東日本区事務所まで。

<横浜関内クラブ>

6月17日(金)、横浜のインド料理店との協働で、仙台YMCAの協力のもと、南三陸町・平成の森にて避難所生活、仮設住宅生活者の方々に約400食のインドカレーの炊出しを行われ、好評を博しました。



<仙台青葉城、姫路グローバルクラブ>

6月25日(土)、26日(日)、仙台青葉城クラブおよびDBCの姫路グローバルクラブが合同で宮城県亶理郡山元町のイチゴ農家の瓦礫屑の撤去の奉仕を行われました。仙台YMCAのスタッフの皆さん、仙台在住の東京ひがしクラブの竹内さんも参加されました。

4. 「松本から届けたワイズの声」

6月4日(土)、5日(日)に松本市・松本文化会館で開催された第14回東日本区大会は「松本から届けようワイズの心」をキャッチフレーズに、菅谷松本市長、上條恒彦さんの講演、仙台YMCA大野総主事や支援活動を行なったクラブの報告等さまざまな東日本大震災関連のプログラムが盛り込まれました。

菅谷市長の「福島原発事故と子供たちのこと」と題するチェルノブイリ原発事故の際、医師として現地で5年間医療活動に携われた体験談、原発の危険性についての講演については、ご本人の了解をいただき、DVDを作成しました。ご希望の方は田中までご連絡下さい。

また、東京YMCAが被災地に寄付しているLEDランタンに使用する単1電池の持参を参加者に呼びかけましたが、663個を集めることができました。さらに、会場では被災地の物産の販売を行いました。翌週の京都での西日本区大会での販売分と合せ、96,298円の利益を上げ、支援募金に加えることができました。

なお、大会では以下のクラブの東日本大震災への取り組みに対して、理事特別賞が贈られました。

東京江東、東京ひがし、信越妙高、東京銀座、横浜関内

5. 「メネット千羽鶴」へのご協力をお願い

仙台の七夕は例年通り8月6日(土)～8日(月)まで「復興と鎮魂」をテーマに、宮城・東北の復興に寄与することを目的に開催されます。

東日本区ワイズメネットは仙台のメネットの皆さんが中心になって毎年飾っている「平和七夕」を見に来られた方に差し上げる千羽鶴のレイを作り、仙台の皆さんのお役に立ちたいと思います。このレイは横浜国際大会でも海外の参加者に配り、大変喜ばれました。どうぞ皆さんのご協力をよろしく願いいたします。

<千羽鶴レイ作成要領>

- 1) 千羽鶴用の折紙(75mm×75mm)は文具店で売っています。
- 2) 折った鶴は1mの長さに繋げて輪にしてください(約70羽)
- 3) 繋げる糸はタコ糸の細いものを使って下さい。
- 4) レイにしなくても鶴だけ折って送って頂いても結構です。
- 5) 送付期日:2011



年7月15日まで

- 6) 送付先:船橋市田喜野井 5-16-1 鈴木久子さん宛

なお、鶴だけの場合はメネット委員の皆さんで繋げる作業をいたしますから、出来るだけ早目にお送りください。

<メッセージ>

東日本大震災支援対策本部長(東日本区理事)

河合 重三

今年度の東日本区の最重点事業は東日本大震災の支援活動です。東日本区では大地震、津波の発生後、当時の松田理事、田中書記を本部長、本部統括として、いち早く支援対策本部を立ち上げ、ワイズの力を結集して、被災者支援に取り組んできました。支援物資の緊急搬送、募金活動と支援の実施等、スピード感あふれる働きでした。西日本区や国際本部との連携もスムーズに行われてきています。

3カ月以上経過した今でも、約1,300の避難所に8万4千人の方々が不自由な暮らしを余儀なくされています。原発事故の件も依然として大きな不安をもたらせています。

このような状況のもと、支援活動は長期にわたることが予想されます。東日本区では引き続き支援対策本部を中心に情報収集・発信、YMCAや他の関係団体との協働を進め、各クラブの皆さまが被災地・被災者のニーズにマッチした支援活動、特に各クラブの特徴を活かした支援活動を行うためのサポートおよび区としての支援活動の充実・展開を行っていきます。

各クラブの皆さまがこの時期にワイズであることの重みを受け止めて、希望と笑顔を持ってワイズメンの真価を発揮していただくことを心から願います。

ワイズメンズクラブ国際協会東日本区 東日本大震災・支援対策本部

本部長:河合理事

本部統括:田中前書記(ITアドバイザー)

メンバー:駒田次期理事、松田直前理事、仲澤書記、高野会計、

長谷川地域奉仕事業主任、林事務所長、鈴木前事務所長、清水元理事、井上北東部部長

今私たちにできることを・・・